

令和5年度地方教育行政功労者表彰（文部科学大臣表彰）について

このことについて、本県から下記の者が受賞しましたので、報告いたします。

「地方教育行政功労者表彰」は、地方教育行政において、その功労が特に顕著な教育委員会の委員及び教育長を文部科学大臣が表彰し、その功に報いるとともに、地方教育行政の発展に資することを目的とするものです。

なお、今年度の表彰式は10月12日に文部科学省講堂で開催されます。

○ 被表彰者及び主な功績

氏名	略歴 (期間)	主な功績
ながやま 永山 伸一 しんいち	下野市教育委員会委員 (H18. 3. 25～) 下野市教育委員会委員長 (H21. 3. 25～H30. 3. 24)	教育委員として5期17年間、教育に対する高い見識と的確な判断力をもって、市教育委員会の活性化及び学校教育振興に尽力した。市内学校を訪問し現状を把握するとともに、教職員との対話や研修を積極的に行い、情報収集に努めた。温厚篤実な人柄は、関係者のみならず、地域住民からも、深く信頼されている。
たかはし 高橋 彰 あきら	益子町教育委員会委員 (H19. 10. 1～R5. 9. 30) 益子町教育委員会委員長 (H22. 10. 1～H28. 9. 30) 芳賀市町教育委員会連合会長 (H24. 10. 1～R5. 9. 30) 栃木県市町村教育委員会連合会長 (R3. 11. 1～R5. 9. 30)	教育委員として16年間の長きにわたり、教育委員長、職務代理者を歴任しながら、町の教育振興に尽力し、特に英語特区の導入等、先見的な英語教育推進に取り組んできた。郡や県の連合会長も歴任し、次代を担う子どもたちの育成のため、芳賀地区のみならず、栃木県全体の教育活動推進に大きく尽力した。
ひらくい 平久井 好一 こういち	那須町教育委員会教育長 (H22. 6. 10～)	教育長として町の教育振興、充実、発展のために誠心誠意尽くしている。特に、学校の統廃合に伴うコミュニティ・スクールの構築や、「防災教育・プログラミング教育・人間関係プログラム」の町独自の教科「NAiSUタイム」を導入し、次代を担う子どもたちのために特色と魅力ある教育を推進している。